

松田 武雄

原文の「3. Sampling filter としての比較」において第 1 表に示した各式の操作を重みをつけた Sampling として示した。このさいもとの函数を

$$\frac{C_0}{k} \left( \Delta g(0) + \frac{C_1}{C_0} \Delta g(S_1) + \frac{C_2}{C_0} \Delta g(S_2) + \dots \right)$$

で表わしたときの Sampling filter としての特性曲線を、

$$1 + 2 \sum_i \frac{C_i}{C_0} \cos 2\pi \frac{S_i}{\lambda}$$

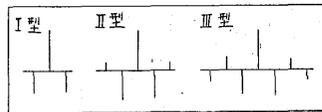
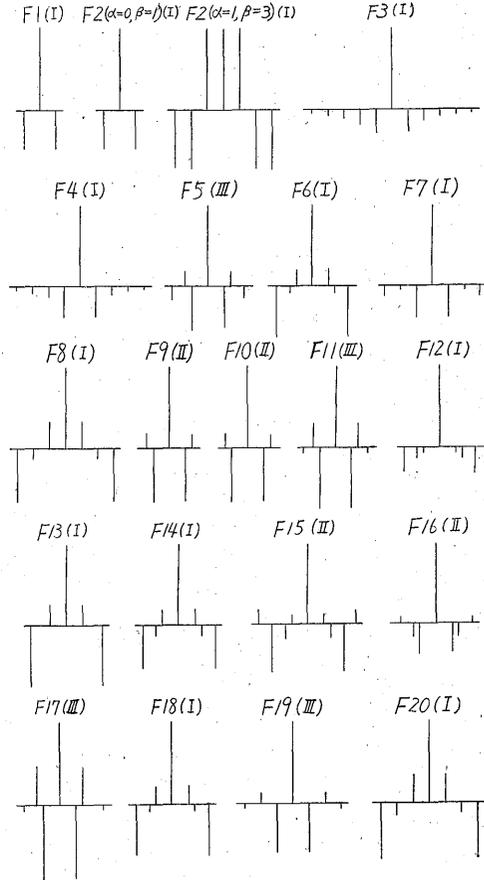
として計算したが、この問題においては

$$1 + \sum_i \frac{C_i}{C_0} \cos 2\pi \frac{S_i}{\lambda}$$

とするのが適當であつた。

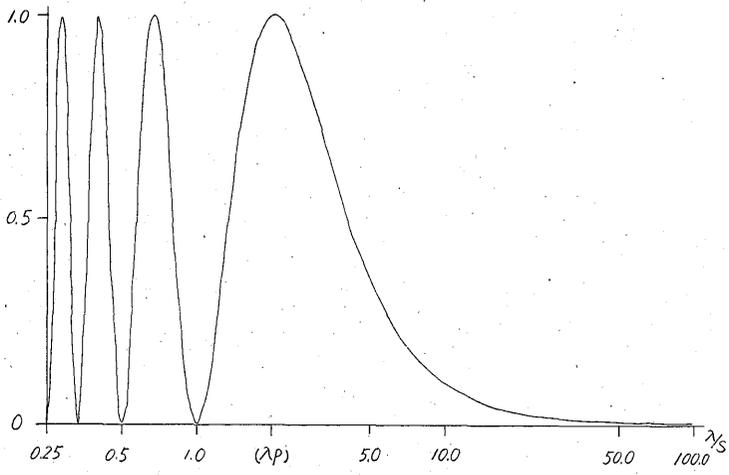
したがつて、原文の第 1 図に示した Sampling filter として表わした各計算公式を本文の第 1 図のように、また原文の第 2 図～第 7 図に示した特性曲線を本文の第 2 図～第 7 図のようにそれぞれ訂正していただきたい。

しかし結論については変更の必要はないと考えられる。

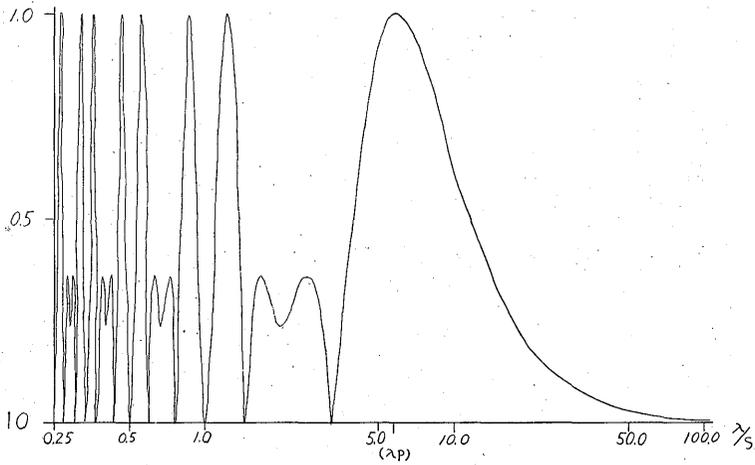


第 1 図 Sampling filter として表わした各計算公式。

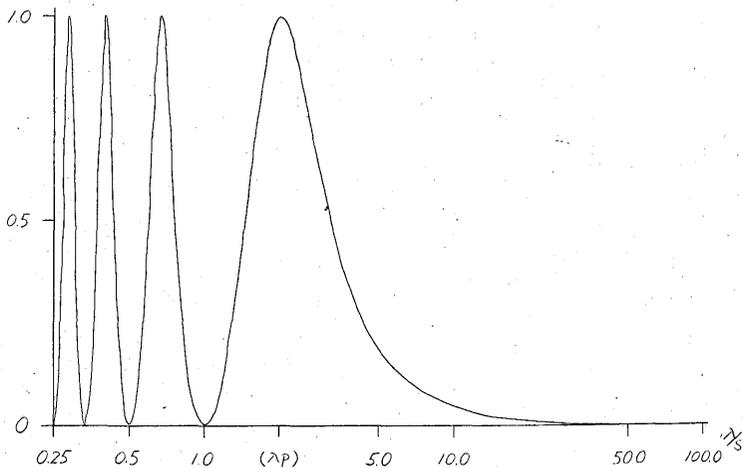
- |  |   |
|--|---|
| F 1: (余剰動力)  | F 11: Henderson & Zietz ( $\partial^2 g / \partial z^2$ ) |
| F 2: ( " )   | F 12: Elkins ( " )  |
| F 3: Evjen ( $\partial g / \partial z$ )                 | F 13: Elkins ( " )  |
| F 4: 坪井 ( " )  | F 14: Elkins ( " )  |
| F 5: 加藤 ( " )  | F 15: Peters ( " )  |
| F 6: 加藤 ( " )  | F 16: Rosenbach ( " )                                     |
| F 7: 加藤 ( " )  | F 17: 加藤 ( " )  |
| F 8: 加藤 ( " )  | F 18: 加藤 ( " )  |
| F 9: Henderson & Zietz ( $\partial^2 g / \partial z^2$ ) | F 19: 加藤 ( " )  |
| F 10: Henderson & Zietz ( " )                            | F 20: 加藤 ( " )  |



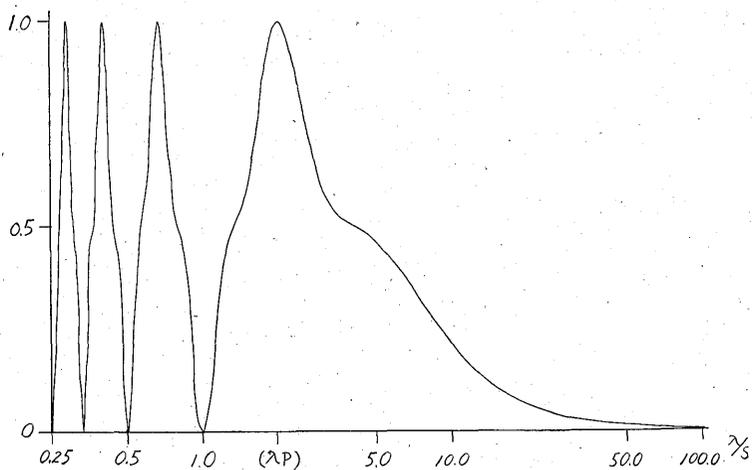
第2図  $F_2 (\alpha=0, \beta=1)$  の特性曲線



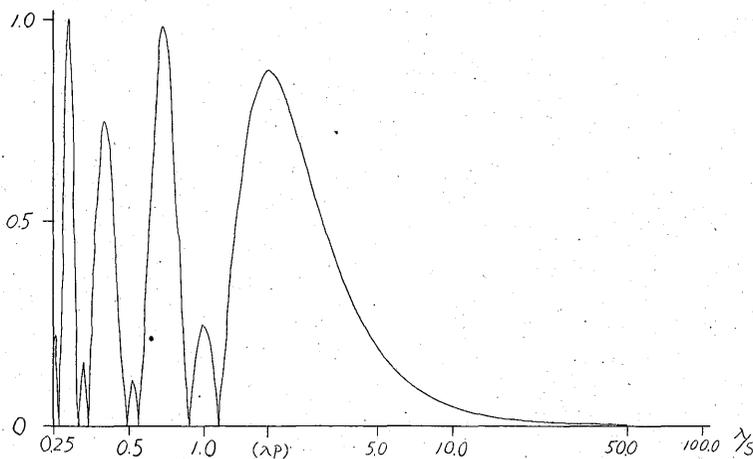
第3図  $F_2 (\alpha=1, \beta=3)$  の特性曲線



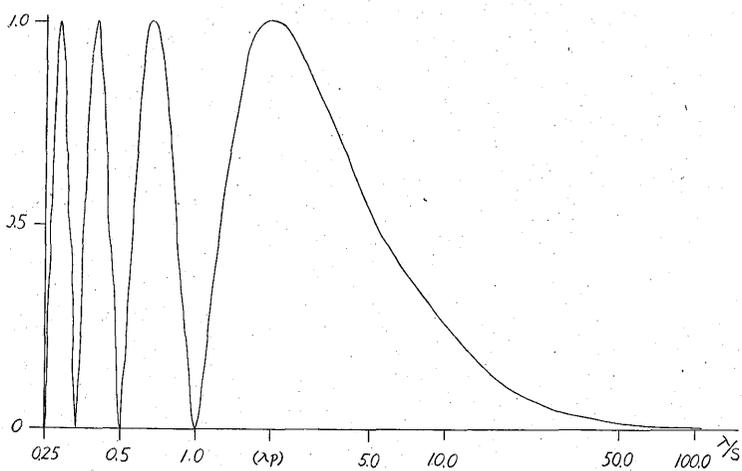
第4図  $F_4$  の特性曲線



第5図 F7 の特性曲線



第6図 F9 の特性曲線



第7図 F19 の特性曲線